

保証書

保証期間内に取扱説明書の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	ディスクグラインダー-100mm EDG-550		お買い上げ日	保証期間
			年 月 日	1 年
お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電 話	()		
販売店	住 所			
	店 名	☎ ()		

上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります
(イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
(ニ) 本書の提示がない場合。
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

発売元

 藤原産業株式会社

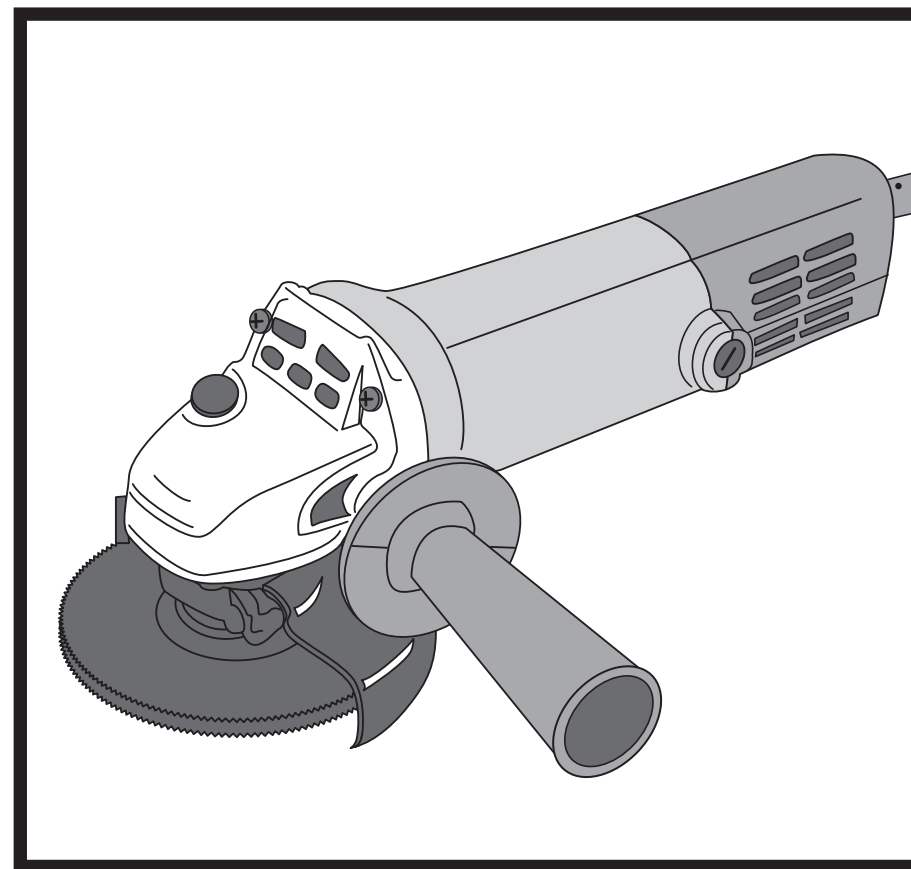
情報サービスセンター	〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1	Tel.0794-86-8200(代) Fax.0794-83-5160
近畿支店	〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1	Tel.0794-86-8210(代) Fax.0794-83-5160
中部支店	〒473-0902 愛知県豊田市大林町17丁目7-16	Tel.0565-25-2227(代) Fax.0565-25-2239
九州支店	〒841-0056 佐賀県鳥栖市蔵上1丁目220	Tel.0942-81-2307(代) Fax.0942-81-2308
鹿児島営業所	〒890-0073 鹿児島県鹿児島市宇宿2丁目22 Bayside marina 101号	Tel.099-285-1748(代)
広島営業所	〒731-0137 広島県広島市安佐南区山本1丁目25-11	Tel.082-875-7211(代) Fax.082-850-0311
東京支店	〒333-0842 埼玉県川口市前川3丁目19-9	Tel.048-268-3939(代) Fax.048-268-9191
熊谷営業所	〒360-0216 埼玉県熊谷市西野68-1	Tel.048-577-3292(代) Fax.048-577-3275
札幌営業所	〒003-0021 北海道札幌市白石区栄通15丁目8番36号	Tel.011-374-5528(代) Fax.011-374-5529
仙台営業所	〒984-0038 宮城県仙台市若林区伊在2丁目15番地の1	Tel.022-287-5739(代) Fax.022-287-5766
神奈川営業所	〒243-0206 神奈川県厚木市下川入867-1 アロードリーム1階	Tel.046-265-0365(代) Fax.046-265-0022
金沢営業所	〒921-8066 石川県金沢市矢木三丁目256	Tel.076-240-3630(代) Fax.076-240-3515

E-Value

EDG-550

ディスクグラインダー-100mm

取扱説明書



このたびはディスクグラインダーをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。

お読みになったあとは必ず保存してください。

目次

1. 安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと	P.1~3
2. ディスクグラインダーのご使用前の確認と御注意	P.4
3. 部品の名称	P.5
4. 付属品の明細	P.5
5. 延長コードのご使用について	P.5
6. 仕様明細	P.5
7. ディスクカバーの取り付け、取り外し方法について	P.6
8. オフセット砥石の取り付け、取り外しについて	P.7
9. スイッチ操作	P.8
10. 弾性砥石の取り付け、取り外しについて	P.9
11. サンディングディスクペーパーの取り付け、取り外しについて	P.10
12. カップワイヤー、ベベルワイヤーの取り付け、取り外しについて	P.10
13. 切断砥石の取り付け、取り外しについて	P.11
14. サイドグリップの取り付け	P.12
15. 保守、点検について	P.12

1. 安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「△警告」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「△警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用ください。
 - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管してください。
- 注 本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

△警告

1. 作業をする時の服装について

- 電動工具を使用するときは、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけてください。屋外作業をするときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- ・ 作業中、本機工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないでください。
- ・ 作業中回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用してください。
- 騒音の大きい作業のときは、耳栓などの防音保護具を着用して下さい。

2. 作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業するようにしてください。
- ・ ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにしてください。
- ・ 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具モーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないでください。
- ・ 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業者以外は近づけないでください。又、作業者以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないでください。
- ・ 作業場の近くに作業者以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないでください。感電の恐れがあり大変危険です。



警告

3.電気について

- 使用電源は銘板で表示してある電圧でご使用ください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったり、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認ください。2重絶縁品を除き必ずアースを接地してください。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
 - ・ スwitchを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作業するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼してください。
 - ・ ネジがゆるんでいたり工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の作業の時は開始前に1分以上回転させてください。
 - ・ 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業台の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
 - ・ 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
 - ・ スwitch、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等を行いますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。



警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気が付いたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
 - ・ 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりではなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
 - ・ コードが損傷しますと危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具（スパナ・ネジ回し等）は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
 - ・ 工具を本機の至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
 - ・ 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - ・ 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
 - ・ 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5.手入と保管について

- 常に本機の手入に心がけ、長期間安全にご使用ください。
 - ・ 使用後汚れたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
 - ・ 切れ味が悪いと仕上がり面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くなり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
 - ・ 修理、点検は販売店にお申し付けください。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。

2. ディスクグラインダーのご使用前の確認と御注意

警告

- 使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用しますと、回転が異常になり危険で、ケガの原因となります。
- 本機ご使用の際は必ずディスクカバーをして下さい。
- 使用する砥石は、最高使用周速度72m/S (4300m/min) 13600min⁻¹以上のものをご使用下さい。
切断用砥石のご使用の際は、付属のカバーは使えません。
切断砥石専用のカバーをご使用ください。
- 砥石にヒビ、割れ等の異常がないことを確認して下さい。万一ヒビ、割れ等がありましたら、新しい物と交換してからご使用下さい。
- 砥石は、形状によってそれぞれ使用面が決められています。必ず使用面でご使用下さい。
(オフセット形状)

オフセット砥石…周面及び側面 弾性砥石…側面

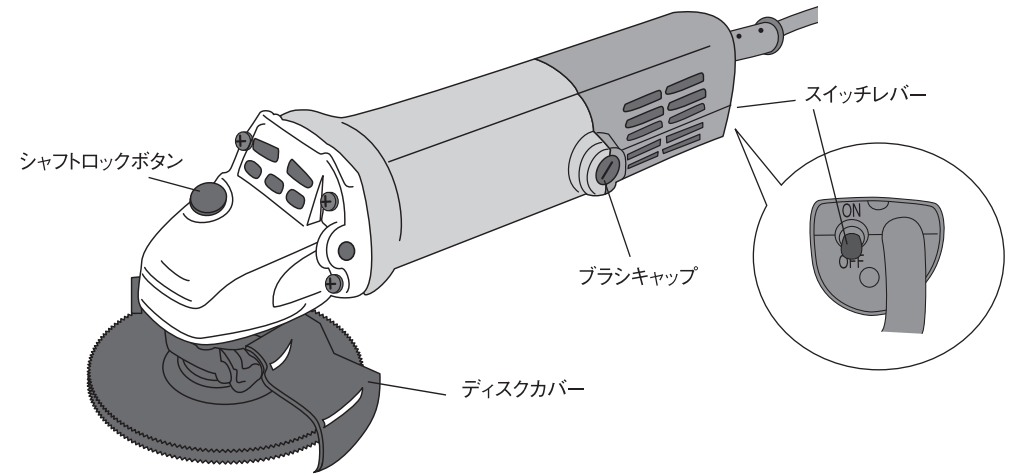
切断砥石…周面

- 研削液や水などをかけて使用しないで下さい。
- バイスなどへ本機を固定して、定置式グラインダのように使用しないで下さい。
- 指定された工具類以外の刃物（丸鋸刃やチップソーなど）は絶対に使用しないで下さい。
- 作業前に人のいない方向で回転させて、本機の振動やその他異常がないかを御確認ください。異常があるままご使用になりますとケガの原因となります。
- 使用中に本機を確実に保持してください。特に始動時には十分に注意してください。
- 無理な姿勢での作業は危険ですので切断作業中にこじったり、側面を使用したりしないで下さい。また、斜め切りや曲面切断、ジグザグ切断などは絶対にしないで下さい。
- 使用中に、回転部や工具類（砥石やペーパーなど）には手や顔などを近づけないで下さい。
- 研削粉は火花となって飛散しますから、引火しやすいもの、傷つきやすいものは危険のない所へ遠ざけてください。また、研削粉に直接触れたり、手足に当たらないようにして下さい。
- 砥石が回転している時は、絶対にシャフトロックボタンを押さないで下さい。
- 誤って機体を落したり、ぶついたりしますと、外枠などが変型したり、亀裂や破損生じる恐れがありますので、大事に扱って下さい。また、落したり、ぶつけた際は砥石や機体に亀裂や破損、変型がないかよく点検してください。
- 使用中に、本機の調子が悪かったり、異常を感じられた場合は、ただちにスイッチを切り、使用を止めてください。お買い求めの販売店へ点検/修理を依頼してください。

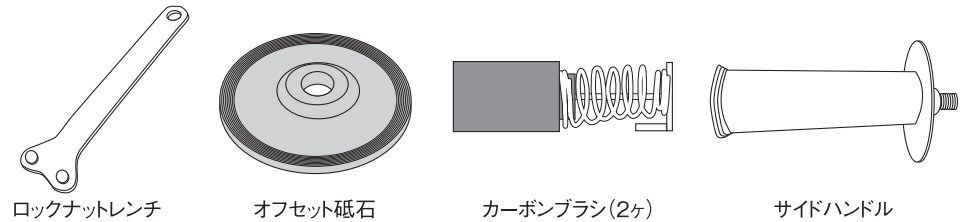
注意

- 砥石などの工具類や付属品などは、取扱説明書に従って確実に取り付けて下さい。確実に取り付けていなければ、はずれたりしてケガの原因となります。
- 作業前には必ず試運転を行い、異常がないことを確認して下さい。
試運転時間は 砥石交換時…3分間以上/その日の作業ははじめ…1分間以上
- 砥石をつけて、はじめてスイッチを入れる際は、砥石が露出している部分から体を離してください。
- 高いところで作業される際は、下に人がいないか確認してください。またコードを引っ掛けて本機を落下させますと、故障やケガの原因となります。
- 回転させたままで床などに放置しておくことは危険ですのでおやめください。
- コードを延長される場合は、電圧降下の要因となり機械の能力を十分に発揮できなくなりますので右記の表に表示されている長さ以内でご使用ください。
- 本製品は、ダイヤモンドカッターによる石材、コンクリート切断作業を想定した商品ではありません。無理に使用されますとモーター焼損の恐れがありますので、ご使用にならないで下さい。

3. 部品の名称



4. 付属品の明細



5. 延長コードのご使用について

- 電源が離れていて延長コードを使用するときは、本機を最高の能率でご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くご使用ください。
- 使用するコードの太さ(公称導体断面積)と最大長さの関係

コードの太さ(導体公称断面積)	コードの最大長さ
1.25mm ²	15m
2.0mm ²	30m

6. 仕様明細

形 式 名	EDG-550	無負荷回転数	11000min ⁻¹
電 動 機	直巻整流子電動機	砥 石 寸 法	外径100mm×厚み6mm×内径15mm
電 圧	単相100V	全 長	約275mm
周 波 数	50/60Hz	質 量	約1.6kg
消 費 電 力	550W	絶 縁 方 式	二重絶縁構造 □
電 流	5.7A	定格使用時間	30分

*改良のため、機能形状等を変更することがあります

7. ディスクカバーの取り付け、取り外し方法について

警告

ディスクカバーの取り付け、取り外しの際は、必ず本機のスイッチを切り、プラグを電源から抜いて下さい。

■ディスクカバーの取り付け方法

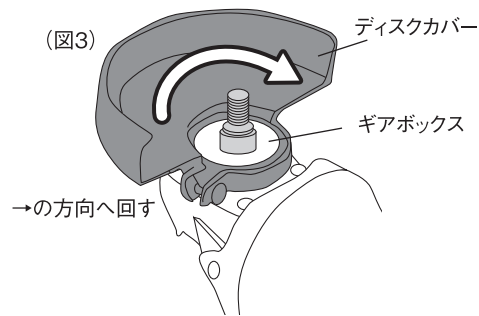
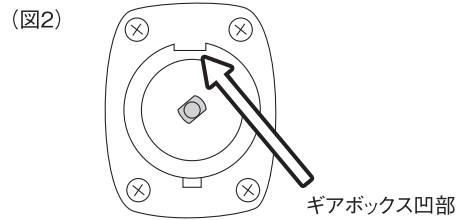
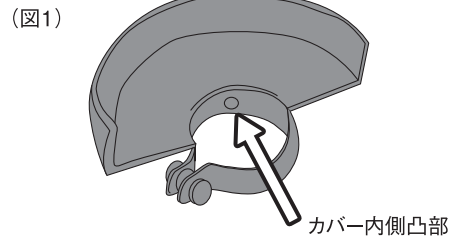
ディスクカバー内側の凸部(図1)とギアボックスにある凹部(図2)を合わせて、ディスクカバーをギアボックスへセットしてください。

ギアボックス側面にある溝に、ディスクカバー内側の凸部を沿わせながら図のように矢印の方向へ180度回してください。

ネジを締め付けて、しっかりと固定してください。

■ディスクカバーの取り外し方法

上記の要領の、逆の方法で行って下さい。



■シャフトロックボタンの使い方

砥石の取り付け、取り外しの際に使用します。ボタンを押し込んでシャフトが固定されるまでシャフトを手で回してください。

*回転中にシャフトロックボタンを押さないで下さい。



8. オフセット砥石の取り付け、取り外しについて

警告

砥石の取り付け、取り外しの際は、必ず本機のスイッチを切り、プラグを電源から抜いて下さい。

■取付け方法

スピンドルシャフトを上に向けて、インナーフランジの凸部を上に向けて、スピンドル根元部分の切り欠きに合わせてセットしてください。

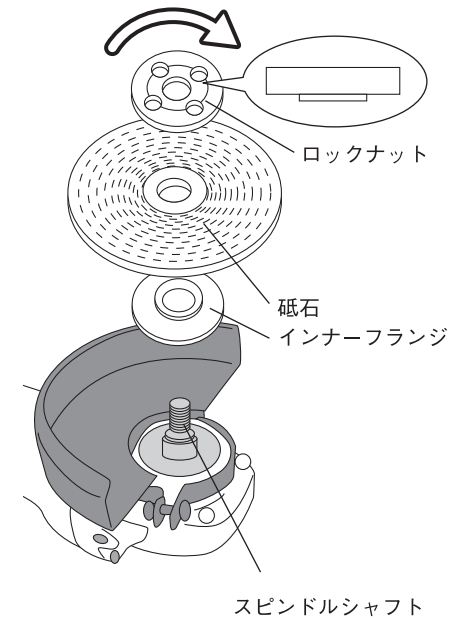
オフセット砥石の凸部を下に向け、内径をインナーフランジ凸部に合わせてセットしてください。

シャフトロックボタンを押しながら、ロックナットレンチを使って、ロックナットをしっかりと締め付けてください。

■取り外し方法

上記取り付け方法と逆の要領で行って下さい。

ロックナットの締め付け方向



9. スイッチ操作

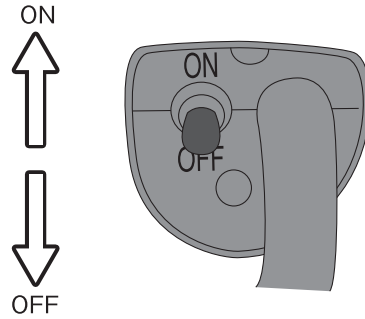
警告

電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認して下さい。
スイッチが入った状態で、電源を入れますと大変危険です。

本体最後部のスイッチをON側(本体上方向)へ倒しますと作動し、OFF側(本体下方向)へ倒しますと、止まります。

警告

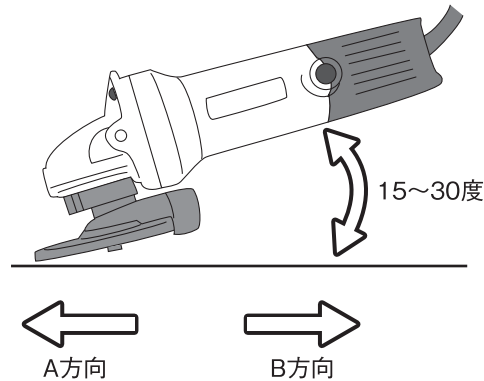
使用後は、スイッチを切して下さい。スイッチを切った後も慣性で砥石は回転していますので、回転が完全に止まるまで、機体を置かないでください。
また、回転が止まらないうちに切り粉やゴミの多い場所に置きますと、切り粉やゴミを吸い込む事がありますので、御注意ください。



機械を、研削対象物から離れた位置でスイッチを入れ、回転が上がり一定の回転になりましたら、作業を始めてください。

砥石の研削能力を十分に発揮するためには、なるべく外周部を使用し、右図のように、15度～30度傾けてご使用ください。

新しい砥石を使用の時は右図のようにB方向に引くようにご使用ください。A方向に進ませますと、砥石の角が対象物に食い込む事があります。砥石の角が摩耗しましたら、どちらに進めても結構です。



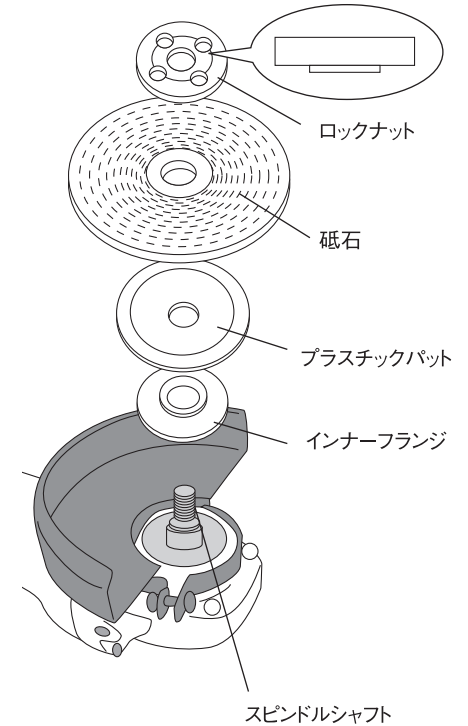
10. 弾性砥石の取り付け、取り外しについて

警告

砥石の取り付け、取り外しの際は、必ず本機のスイッチを切り、プラグを電源から抜いて下さい。

インナーフランジと砥石との間に専用のプラスチックパットを入れてください。

後の要領は上記オフセット砥石と同じです。



11. サンディングジスクペーパーの取り付け、取り外しについて

警告

ペーパーの取り付け、取り外しの際は、必ず本機のスイッチを切り、プラグを電源から抜いて下さい。

■ 取り付け方法

スピンドルシャフトを上に向けて、インナーフランジの凸部を上に向けて、スピンドル根元部分の切り欠きに合わせてセットしてください。

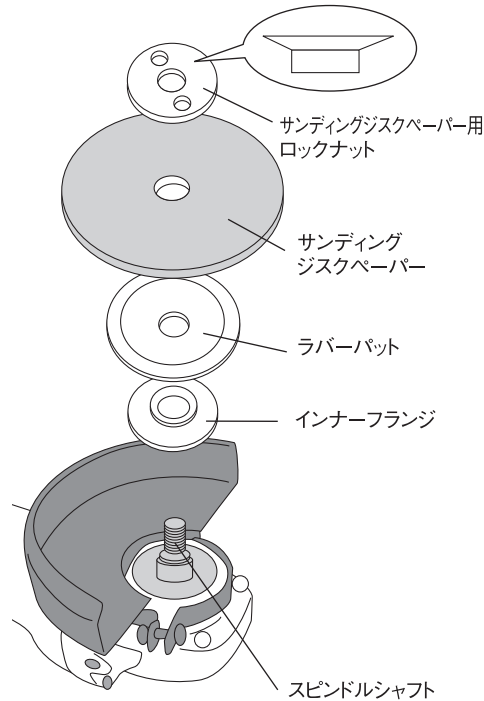
ラバーパットとサンディングジスクペーパーをスピンドルシャフトへセットしてください。

サンディングジスクペーパー用ロックナットの凸部を下へ向けてスピンドルシャフトへねじ込んでください。

シャフトロックボタンを押しながら、ロックナットレンチを使って、ロックナットをしっかりと締め付けてください。

■ 取り外し方法

上記取り付け方法と逆の要領で行って下さい。



12. カップワイヤー、ベベルワイヤーの取り付け、取り外しについて

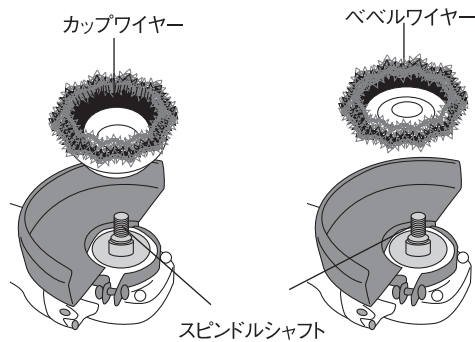
警告

カップワイヤーの取り付け、取り外しの際は、必ず本機のスイッチを切り、プラグを電源から抜いて下さい。

■ 取り付け方法

インナーフランジを取り外して、カップワイヤー(ベベルワイヤー)を直接スピンドルシャフトにねじ込んでください。

シャフトロックボタンを押しながら、ジスクワイヤー用スパナ(ベベルワイヤー用スパナ)を使って、しっかりと締め付けてください。



13. 切断砥石の取り付け、取り外しについて

警告

砥石の取り付け、取り外しの際は、必ず本機のスイッチを切り、プラグを電源から抜いて下さい。

■ 取り付け方法

スピンドルシャフトを上に向けて、インナーフランジの凸部を上に向けて、スピンドル根元部分の切り欠きに合わせてセットしてください。

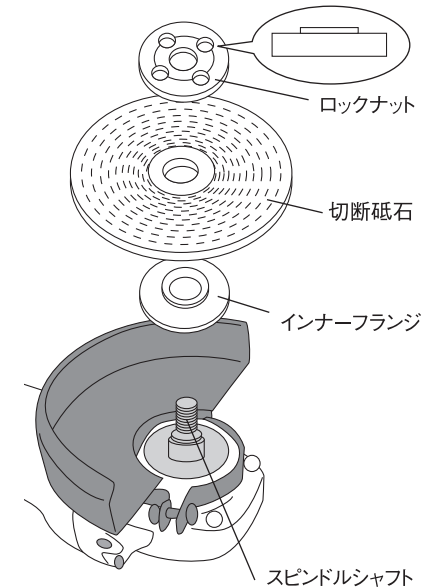
切断砥石をスピンドルシャフトへセットしてください。

ロックナットの凸部を上に向け、挿入してください。(オフセット砥石の時と逆向きです。)スピンドルシャフトにねじ込んでください。

シャフトロックボタンを押しながら、ロックナットレンチを使って、ロックナットをしっかりと締め付けてください。

■ 取り外し方法

上記取り付け方法と逆の要領で行って下さい。



警告

切断作業中にこじったり、側面を使用したりしないで下さい。また、斜め切りや曲面切断、ジグザグ切断などは絶対にしないで下さい。

警告

使用後は、スイッチを切って下さい。スイッチを切った後も惰性で砥石は回転していますので、回転が完全に止まるまで、機体を置かないでください。また、回転が止まらないうちに切り粉やゴミの多い場所に置きますと、切り粉やゴミを吸い込む事がありますので、御注意ください。

機械を、研削対象物から離れた位置でスイッチを入れ、回転が上がって一定の回転になりましたら、機械をしっかりと保持し、ゆっくり前方へ切り進んでください。

注意

回転が十分に上がっていない状態で、本体に負荷をかけることは絶対にしないで下さい。モーター焼損の原因になります。

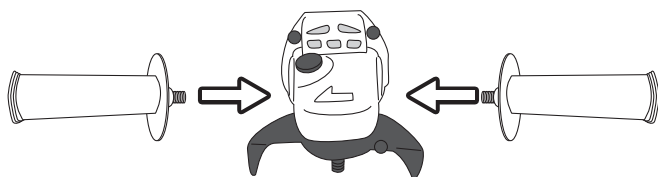
14. サイドグリップの取り付け

警告

グリップの取り付け、取り外しの際は、必ず本機のスイッチを切り、プラグを電源から抜いて下さい。

付属のサイドグリップは、本体頭部の左右2箇所へ取り付けが可能です。

作業にあわせて左右どちらかを選び、しっかりと取り付けご使用ください

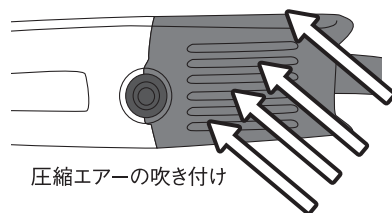


15. 保守点検について

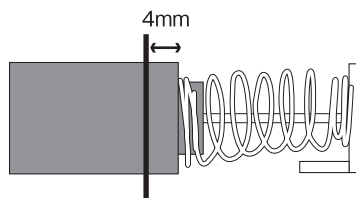
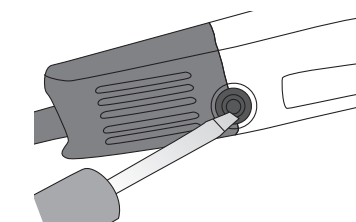
警告

点検整備の際は、必ず本機のスイッチを切り、プラグを電源から抜いて下さい。

- 各部の取り付けねじがゆるんでいないか、定期的に点検し、ゆるんでいましたらしっかりと締め直してください。ゆるんだままのご使用は大変危険です。
- 本体内部は、研削や切断の粉塵で汚れます。定期的にコンプレッサーなどの圧縮エアを本体後部の風窓から吹き付け、粉塵を取り除いてください。故障の防止と、本機の寿命が長くなります。
- フランジやカバー、コード本体などに、亀裂や破損、変形がないか定期的に点検してください。そのままのご使用は大変危険です。
- カーボンブラシの交換カーボンブラシは時々取り外して点検してください。カーボンブラシが4mm以下の長さまで磨耗しましたら交換時期です。それ以上短くなったままのご使用は、モーターの故障の原因となります。本体後方の左右両側にありますブラシキャップを、マイナスドライバーで取り外してください。中から古いカーボンブラシを取り出して、新しいカーボンブラシをセットしてください。この時に、ブラシホルダー内で、カーボンブラシがスムーズに前後するか必ず確認してください。カーボンブラシは2個ありますから、交換は必ず2個同時に行ってください。
- 修理は、ご自身でなさらないで、必ずお買い上げいただいた販売店へご依頼ください。



圧縮エアの吹き付け



摩耗限度